

ステラ・ダラス (1937)

STELLA DALLAS

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 106分
初公開日 1938/12
公開情報 劇場公開

【解説】

サミュエル・ゴールドウィンが、25年のサイレント版に続き、演技派スタンウィック主演で、お気に入りの“母もの”ストーリーを再び映画化。積極果敢な女性ステラは、自分からアタックして、将来有望な工場の法律顧問を亭主にする。やがて二人の間に娘が出来、ステラは娘を溺愛する。しかし虚栄心から贅沢を続ける彼女に、夫の心はいつしか離れていく。寂しさを紛らわすためステラはますます浪費を続け、ついには離婚してしまう。夫の再婚相手が上流階級の優雅な婦人であることを知り、自分の粗野な性格を恥じていたステラは、彼らに娘を託して姿を消す。日本人にはステラの前半の自己主張が理解しづらいかも知れないが、ラスト、娘の結婚式の晴れ姿を、そば降る雨の屋外から見守るシーンは、監督ヴィダールの名人芸もあって、理屈なしに泣ける出来である。90年のB・ミドラー主演による「ステラ」は、息子ゴールドウィンの製作によるリメイク。

【クレジット】

監督	キング・ヴィダール	King Vidor
製作	サミュエル・ゴールドウィン	Samuel Goldwyn
原作	オリヴ・ヒギンズ・プローティ	Olive Higgins Prouty
脚本	サラ・Y・メイソン ヴィクター・ヒアマン	Sarah Y. Mason Victor Heerman
撮影	アーサー・エディソン	Arthur Edeson
音楽	アルフレッド・ニューマン	Alfred Newman
出演	バーバラ・スタンウィック ジョン・ボールズ アン・シャーリー バーバラ・オニール アラン・ヘイル ティム・ホルト マージョリー・メイン ラレイン・デイ	Barbara Stanwyck John Boles Anne Shirley Barbara O'Neil Alan Hale Tim Holt Marjorie Main Laraine Day